



校訓「創造 共生 貢献」

生徒指標

- ・個性を生かす、輝かす
- ・他に学び、マナーを守る
- ・人の世の支えとなる

生徒主体の学校づくり

- ・生徒会活動の活性化
- ・カウンセリング機能の充実
- ・キャリア教育の推進
- ・人権教育・道徳教育の充実
- ・生徒指導の3つの機能（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）を生かした学校づくり

学校の教育目標

- ・健やかな身体と旺盛な意志力を育成し、責任感ある自律的人格の形成を期する
- ・合理的・計画的学習態度を培い、豊かな人間性を育み、個性の伸長を図ることを基軸とした進路実現を支援する
- ・創造的能力と適切な自己管理能力の育成を期し、豊かな情操を涵養して社会公共の利益に資する人間の育成を図る
- ・地域社会に開かれた生涯学習機能の充実を図る

社会との関わり

- ・保護者や地域社会と学校教育目標を共有する
- ・PTAや同窓会、地域との連携強化
- ・社会人講師招聘など外部人材の活用
- ・Webページの活用や公開授業、学校見学等の積極的な学校公開
- ・学びを実生活や社会参画に生かす

前橋清陵高校で育てたい力

自ら学ぶ力

思考力・判断力 表現力 探究力

社会と関わる力

セルフマネジメント力 コミュニケーション力 ホスピタリティ力

学校経営方針

1 時代を切り拓く力の育成

- 多角的に物事を捉えて自分の頭で考え、課題を解決する、予測困難な時代を生き抜く力を育成する。
- 3・4年間を見通した教科横断的、継続的にキャリア教育を進める中で、特に主権者教育を充実させ、社会的・職業的自立に必要な能力を育成する。
- 郷土に愛着をもつとともに、自国の歴史や文化に理解を深め、積極的に異文化を理解尊重しようとする態度を身に付けたグローバルな人材を育成する。

2 確かな学力の育成

- 授業規律の確立と、生徒が積極的に参加しようとする魅力的な授業づくりに努め、生涯にわたる多様な学びに向かう力を育む。
- 対面指導とオンライン教育のハイブリッド化の実現に努力し、ICTを活用した個別最適な学びと共同的な学びを通して、支援の質の向上を図る。
- 主体的・対話的で深い学びを通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育成しながら、学びに向かう力、人間性等を涵養する。
- STEAM教育の理念を意識した実験や作業などの体験学習、あるいは、映像等による疑似体験を通じて、生徒に深く知りたいという思いを喚起させ、地域の課題解決や新たな価値の創造につながる力を育てる。
- ICTリテラシーを身に付け、情報を適切に収集、活用、発信できる力を育成する。

3 豊かな人間性の育成

- SHRへの出席や清掃活動などのHRという集団を基盤に、学校は社会の一つであることを認識させ、「挨拶をする」「時間を守る」「服装頭髪を清潔に整える」などの、ルール・マナーの指導の充実を図り、一層の規範意識の向上を推進する。
- 部活動、生徒会活動、ボランティア活動などの体験的・主体的な活動をさらに充実させ、学校への帰属意識を高めさせるとともに、自己肯定感及び自己有用感を育み、健やかな心の育成を図る。
- 中学校等からの情報、担任による面談、教育相談係やSC相談、家庭状況等も含めた生徒情報を正確に記録し、共有できるシステムを構築する。
- 教職員間の情報交換を密にし、協働を念頭に置いた、生徒への組織的な支援の充実を図る。
- 学校・家庭・地域が連携し、ネットを介したものを含む全てのいじめ防止のために、日ごろから人権を意識した学習活動に取り組みせ、良好な人間関係を築く力を育成する。

4 健やかな身体の育成

- 健康教育及び食育を推進し、生徒の心身の健康の保持増進を図る。
- 生徒の多様性を認め、様々な問題を抱える生徒や、特別の支援が必要な生徒に寄り添った教育を行う。

5 信頼される学校づくり

- 単位制フレックス高校の特性である「自ら築き、自ら輝く」ための本校の日々の学習活動を、保護者や地域社会に対し、積極的に発信する。
- 教員は、日々資質向上に努め、生徒と向き合う時間を確保することを目的に、学校における働き方改革を図る。

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成

- 「新しい生活様式」を踏まえた、生徒が安全に学べる環境を整備する。
- 流行性疾患、災害や交通事故等から自分自身や周囲の人を守る力を育成する。
- 学校の施設整備や防災・防犯・交通安全の対策、就学支援等、安全かつ安心な学習環境を確保する。

7 家庭の教育力向上と学校・地域の連携・協働の推進

- 地域や外部機関と連携・協働し、社会教育活動や社会貢献活動等への生徒の積極的な参加を進め、保護者や地域社会との信頼関係を深める。
- 授業をはじめとした教育活動全般において、外部機関と連携した人的物的の社会資源を積極的に活用する。

8 生涯学習社会の構築

- 学校・家庭・地域・NPOなどとの連携・協力体制を構築し、社会教育や多様な学びの充実を推進する。

共通目標： 協働と共有 ～自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う～